

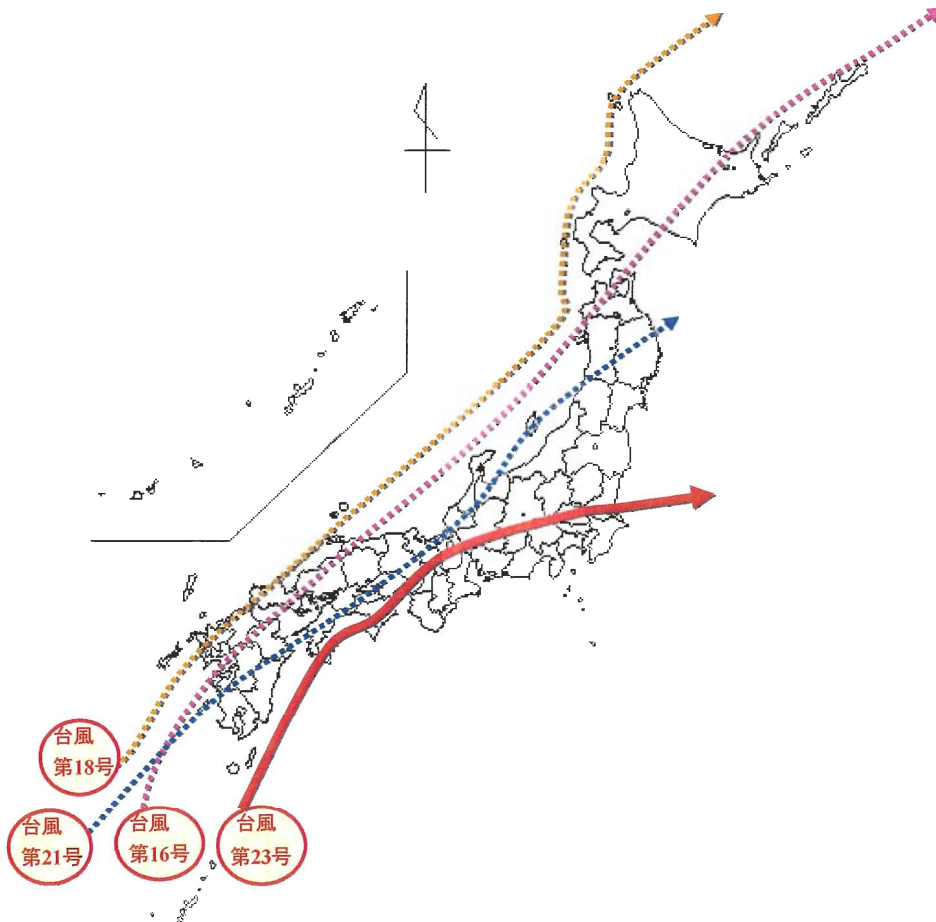
第2章 台風第23号による被害状況と主な対応

1 気象概況

(1) 台風の経路

台風第23号は、平成16年10月20日13時頃高知県土佐清水市に上陸し、その後淡路島の南を通り、紀伊水道を経て18時前に大阪府泉佐野市付近に再上陸した。上陸後日本列島をほぼ東西に縦断し、房総半島から太平洋に出て、21日9時に温帯低気圧に変わった。

平成16年に兵庫県に被害をもたらした主な台風の経路



【平成16年10月19日～20日 風向・風速、降雨量観測表】

(気象台資料)

観測所名	最大瞬間風速	最大風速	時間最大降雨	期間降雨量
神戸	西北西41.5m/s	北北西17.7m/s	30mm	178mm
姫路	北北東39.6m/s	北北東22.9m/s	13mm	158mm
一宮	—	北 6.0m/s	23mm	215mm
洲本	北東 32.5m/s	北東 17.0m/s	72mm	372mm
豊岡	観測機器故障のためデータが集計できていない。			
和田山	—	北西 13.0m/s	29mm	277mm

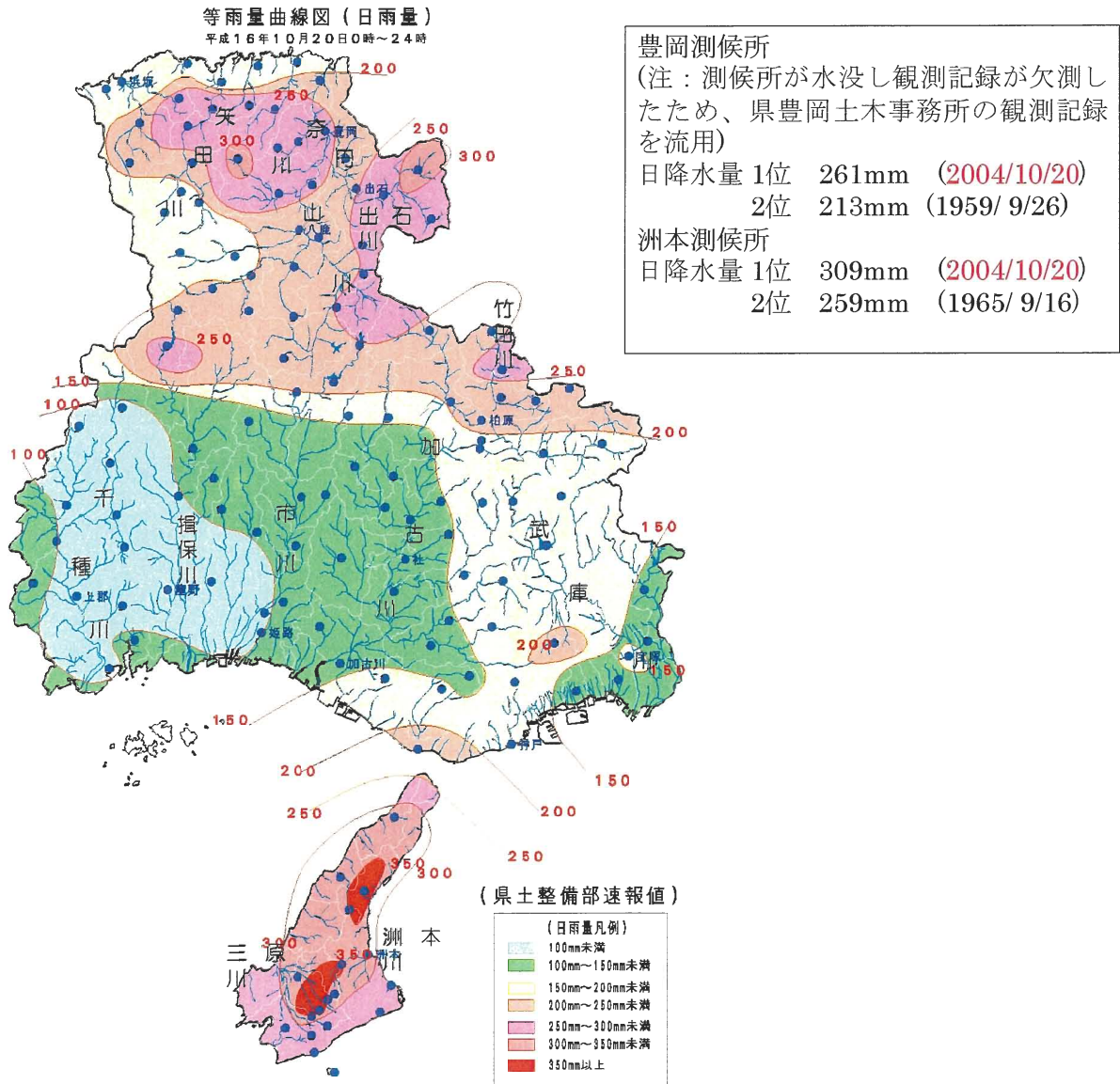
(2) 24時間雨量

台風第23号の降雨量は、淡路地域において、300～350mm/24hを超える地域が島内に広く分布し、特に20日6:00～18:00の12時間に集中して降った。洲本の24時間雨量は317mm、3時間最大雨量で147mmに達し、降雨規模を確率年で表現すると、それぞれ概ね1/30年、1/40年に相当する。

但馬地域においては、円山川の広い流域全体にわたり200mm/24hをこえる雨が20日の8:00～22:00に集中的に降った。特に、円山川の上流域にあたる出石川や奈佐川流域において降雨量が250mm/24hをこえた。円山川立野上流域の24時間雨量は242mmで60年に1回程度の大規模降雨であった。

また、8月末から10月下旬にかけ、台風第16号、18号、21号の大型台風により、豪雨、暴風がもたらされた結果、山などの保水能力が低下しているところに、さらに大規模な降雨があったことから、斜面崩壊や土砂流出が発生しやすくなっていたことも、大きな被害につながった。

24時間雨量 (H16年10月20日0時～24時)

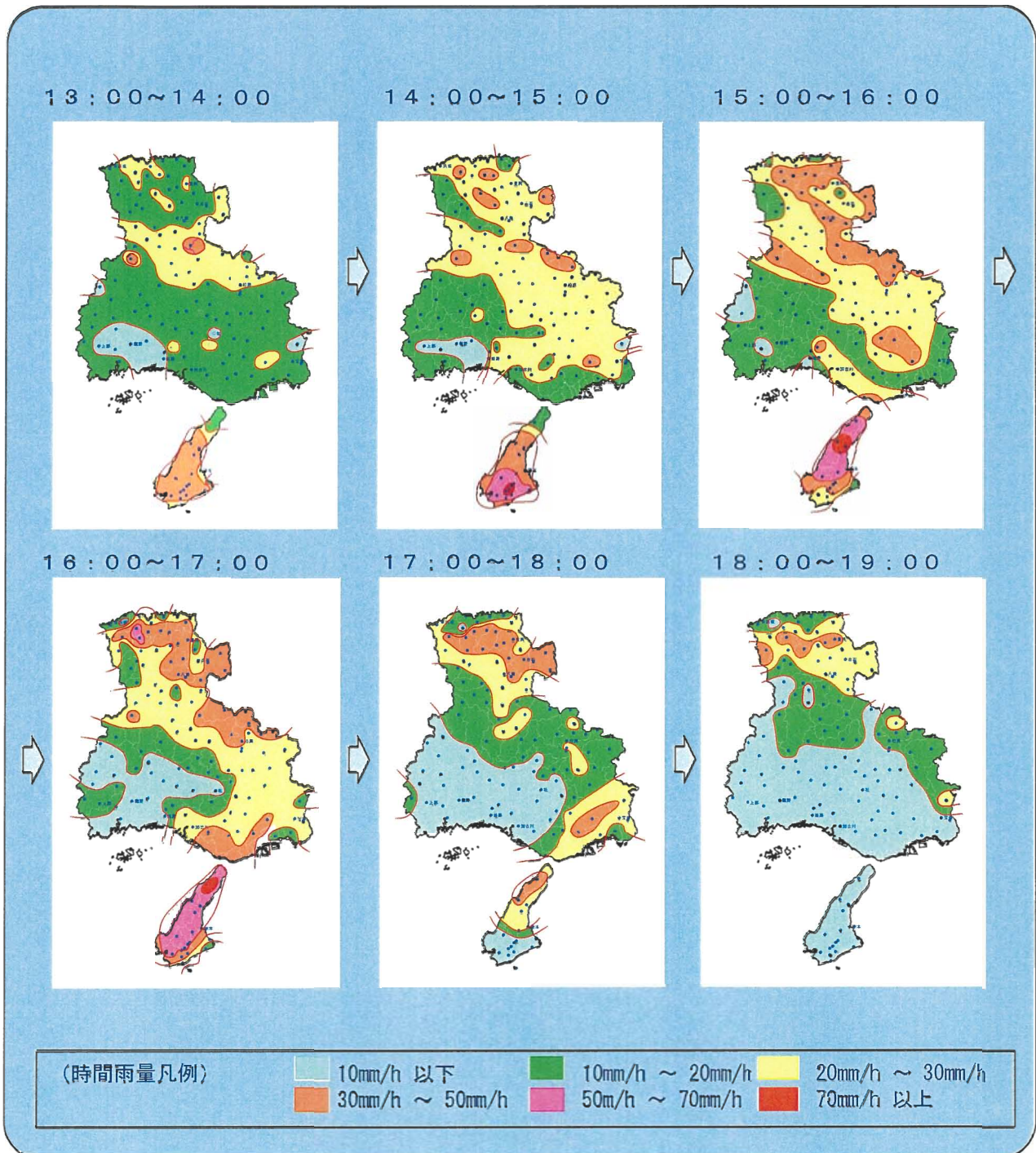


(3) 時間雨量の推移

淡路地域では、20日午前9時頃から20mm/h程度の強い雨が降りはじめ、14:00～17:00の3時間に、70mm/hをこえる非常に激しい雨が南から北へ移動している。

一方、但馬地域では、13時頃から20mm/h程度の強い雨が一部の地域で降りはじめ、15:00～19:00の4時間にわたり30～50mm/hの激しい雨が広範囲に降っている。

時間雨量の推移 (H16. 10. 20)



(4) 主な地点の雨量

但馬地域の山田、畑山、大月や丹波地域の市島、柏原の雨量観測所では、ほぼ30~40mm/h程度のピーク雨量であるが、淡路地域では60~90mm/hである。24時間雨量で比較しても淡路地域が多いが、但馬地域は降雨継続時間が長いので300mmを超えている。

主な地点の雨量 (H16年10月20日6時~21日6時)

